



イネカメムシの越冬個体標識調査にご協力お願いします

1 イネカメムシの防除について

近年、イネカメムシによる水稻の被害が急増しています。イネカメムシは他と異なり出穂直後から加害し、不稔による収量低下と斑点米による品質低下の両方を引き起こすのが特徴的です。農林振興センターでは、異なる薬剤を用いて出穂期頃、出穂後7～10日後の2回防除することを推奨しています。なお、スタークル（商系だとアルバリンという名前）、キラップ、エクシード等の殺虫剤がイネカメムシに特に有効で、次いでトレスポンやスミチオンも使用可能です。

また、大里農林振興センターでは越冬地にいるイネカメムシに色付けをして標識し、「越冬地からどれくらい遠くに移動するか」「麦あと栽培地帯においてはまず水田に飛び込むのか雑

草地に飛び込むのか」等の、防除にかかる基礎的な生態の知見を収集しています。

去年の12月～今年の4月にかけて、左記の4か所の越冬地でイネカメムシを各地点千匹程度捕獲し、場所ごとに異なる色で標識しました。

**標識地点と色について
(約1000匹標識予定/地点)**

- 1 熊谷市猪瀬: ピンク
北緯36.1953197886994、東経139.43808135866394
- 2 熊谷市中曾根: レッド
北緯36.1013182704007、東経139.40942150656545
- 3 熊谷市万平町: グリーン
北緯36.13342668150877、東経139.38937570338925
- 4 熊谷市久保島: オレンジ
北緯36.166123573625455、東経139.35021780426396
- 5 他、實に地點2周辺で、イエローを標識に使用予定



2 越冬標識調査について

また、大里農林振興センターでは越冬地にいるイネカメムシに色付けをして標識し、「越冬地からどれくらい遠くに移動するか」「麦あと栽培地帯においてはまず水田に飛び込むのか雑



生産者の皆様へのお願い

標識個体を見つけましたら、左記連絡先へ情報を寄せください（発見地点（大字や経緯度、植物、時刻、色、匹数など）。標識個体は7月上旬～8月中下旬頃に確認される可能性が高く、その後世代交代し見られなくなります。背側で色が判別しにくい場合、腹側だと明瞭なことがあります。なお、標識個体はブラックライトを当てると光ります。また、イネカメムシ調査のため、中干し時期以降の水田に立ち入らせていただく場合があることについてご理解賜りますようお願いいたします。

（大里農林振興センター

☎ 048-526-2210

農業支援部

★今月のあなたの運勢★7月

乙女座 8/23～9/22

☆モナ・カサンドラ

【全体運】空回りに気を付けましょう。思い込みで行動せず状況確認をしっかりと。観察、分析に力を入れれば良い方向へ

【健康運】スマホやテレビの見過ぎに注意。目をいたわって

【幸運の食べ物】スイカ

